

車載型建築限界支障判定装置

画像解析研究室

- ◆ 線路沿線にある膨大な数の設備の建築限界支障判定を車上判定できます。
- ◆ 軌道検測車に搭載して測定でき、線区により手検測を最大9割削減できます。

概要 建築限界支障判定の省力化のため、沿線設備を連続的に測定できる建築限界支障判定装置を開発しました。車種を問わず設置ができ、時速80km程度の車両走行で検査ができるため、実用的な検査速度を低コストで実現できます。

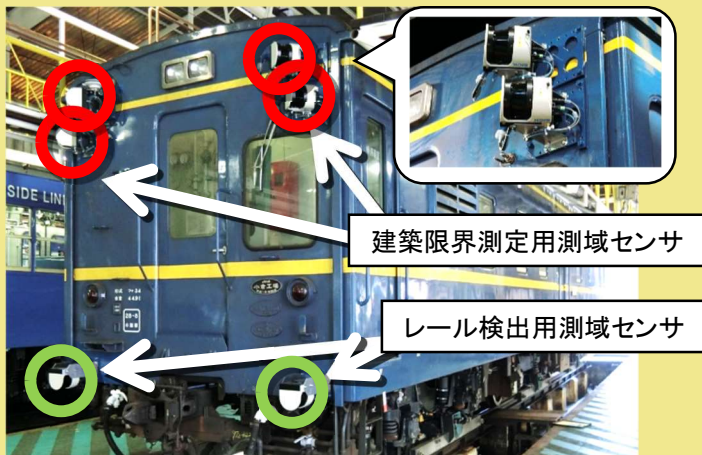


図1 建築限界支障判定装置の設置例

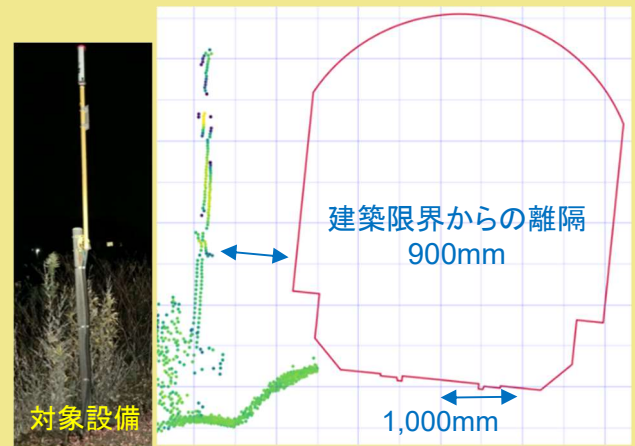


図2 建築限界からの離隔測定

鉄道沿線設備の管理支援システム

画像解析研究室

- ◆ 線路沿線に点在する設備の状態を現場に赴くことなく確認できます。
- ◆ ハンディカメラで運転台から添乗撮影するだけでシステムが動作できます。

概要 ハンディカメラで撮影した映像を用いて、沿線設備の状態を現場に赴くことなく確認できる管理支援システムを開発しました。列車前方の映像から設備の認識、キロ程の推定、俯瞰画像の生成を行い、それらの結果を連動させて閲覧できます。

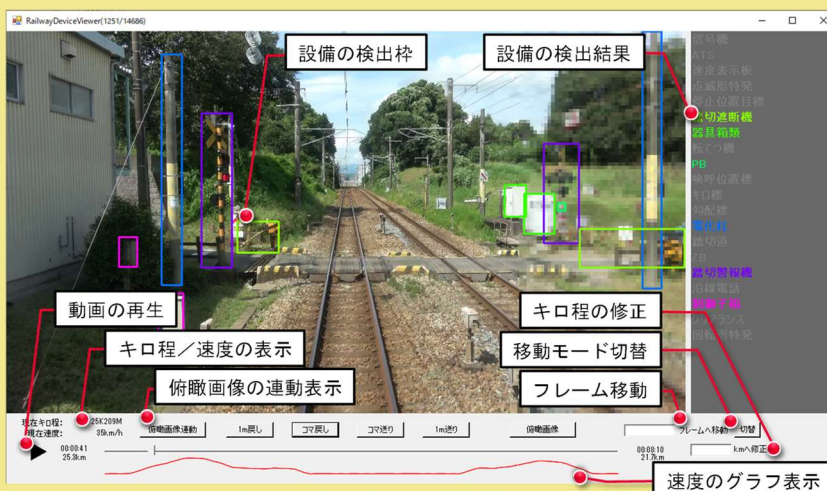


図1 システム画面の例

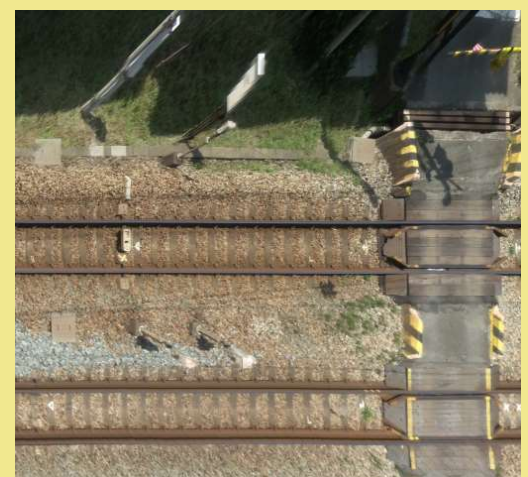


図2 俯瞰画像の表示例